



前進

第10号

10月28日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎修学旅行に行ってきました。

6年生は10月22日(金)・23日(土)にかけて、長崎方面に修学旅行に行ってきました。大野小・吉尾小の友達と一緒に、思い出に残る2日間を過ごすことができました。

1日目は熊本港からフェリーで島原港に向かいました。デッキでさわやかな風を受けながら、海上の風景を楽しみました。残念ながらカモメは数羽しか見られず、フェリーにはなかなか近寄ってきませんでした。

長崎市では昼食後に、まず被爆者の方の講話を聞きました。戦後76年を迎え、被爆者の方も高齢となっております。当時の状況を直接聞くことができる貴重な機会となりました。その後、平和祈念公園で平和集会を行い、ボランティアガイドの方の説明を聞きながら山里小学校・如己堂・浦上天主堂・原爆落下中心地等を見学しました。

午後6時ごろホテルに到着し、夕食や入浴、就寝とスムーズに行動できました。日頃、給食時は黙食を行っているので、友だちと同じ食卓を囲んでの食事は久しぶりとなります。必要以上に会話は行いませんが、友だちの顔を見ながらの食事は楽しそうでした。

2日目は、多くの子どもが楽しみにしていたハウステンボスを行動班で楽しみ、帰路につきました。見学先は新型コロナウイルス感染症対策がしっかりと行われていました。また、子どもたちも手指消毒を適宜行うなど、一人一人が適切に配慮し行動していたと思います。保護者の皆様には、修学旅行の実施に当たり御理解・御協力いた



だいたことに感謝申し上げます。

◎4年生の研究授業。

10月26日(火)に、4年生は社会の研究授業を行いました。吉尾小の友達もオンラインで参加しました。多くの先生方に囲まれ、子どもたちは緊張したことと思います。「自分たちの暮らしを安全・安心なものにするために、自助、共助、公助のどれが大切なのだろうか。」という



学習課題について、話し合いを行いました。これまでの学習の積み重ねで、子どもたちはそれぞれが自分の考えをしっかりとっており、大変感心しました。話し合いがより活発になり考えを深めることができれば、さらに達成感のある授業になっただろうと思いました。授業の後半では芦北町の危機管理防災室長に説明いただき、芦北町の取組も理解することができました。

◎てんまでとどけ、いち・に・さん！

しばらく前の話になりますが、1年生は「くじらぐも」の学習をしていました。教室からは「てんまでとどけ、いち、に、さん。」の元気な声がよく聞こえてきました。ある日の放課後、1年生の女の子が「校長先生に見せたいものがあります。」と言って見せてくれたのが、美しい青空に浮かぶ



くじらぐもと、そのくじらぐもに乗っている子どもが描かれた絵でした。よほどこの学習が楽しかったのでしょう。一緒にいた子どもたちと記念写真を撮りました。

【校長室から】10月も終わりに近づき、朝は肌寒さを感じる時期になりました。朝のボランティアの時間に、私が一輪車に2種類のほうきとちり取りを乗せて掃除に向かおうとしていたところ、5年生の男の子がおもむろに私に近づき、「校長先生、ほうきを一つ持ちましょうか。」と話しかけてきました。その子にとっては当り前の一言かもしれませんが、その優しさに肌寒さも忘れ、逆に心が温まるひと時になりました。